

令和3年10月6日

報道機関各位

情報政策部長 稲葉 清孝

「冠水情報管理システム」及び「土砂ハザードモニタリングシステム」 に係る実証実験について

頻発する豪雨に伴う水害への対策を目的として、覚書を締結するとともに実証実験を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

この実証実験は、令和3年度に導入した道路冠水センサと斜面の異常を検知するセンサを活用し、災害対応フローをデジタル化することで情報の共有・蓄積・管理・活用を行い、様々なハザードに対する危機対応力の強化を図るものです。

記

1. 覚書概要

(1)冠水情報管理システム実証実験に関する覚書

市川市による冠水事象管理業務での試用を通じ、覚書締結事業者の開発するシステムの改善及び強化を行うとともに、市川市における情報システムを活用した災害対応フローの検討の一助とする。

(2)土砂ハザードモニタリングシステム実証実験に関する覚書

市川市による土砂災害対応業務での試用を通じ、覚書締結事業者の開発するシステムの改善及び強化を行うとともに、市川市における情報システムを活用した災害対応フローの検討の一助とする。

2. 締結先

応用地質株式会社

(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:成田賢)

3. 締結日

令和3年10月1日

4. 実証実験の概要

別添のとおり

以上

【問い合わせ】 情報政策部
デジタルトランスフォーメーション推進課
課長 宮崎 美穂
☎047-712-8569

頻発する豪雨に伴う浸水・崖地の対策として、IoT・AIを活用した災害予測・災害情報管理システムの試験運用を行うとともに、市民への迅速な情報発信を含めたより効果的な災害対応フローの検討を行う。

現状

●IoT機器の導入

6月補正予算にて導入 → 9月より運用を開始

- 道路の冠水を検知するセンサー 13箇所
- 崖地の異常を検知センサー 4箇所

センサーが異常を検知 → 職員へメール通知



事業者から本市への提案

応用地質株式会社

市川市

- 実証システムの提供およびサポート

覚書締結

- 実際の災害時におけるシステムの試験運用
- 課題・要望の提供

費用・スケジュール

●費用

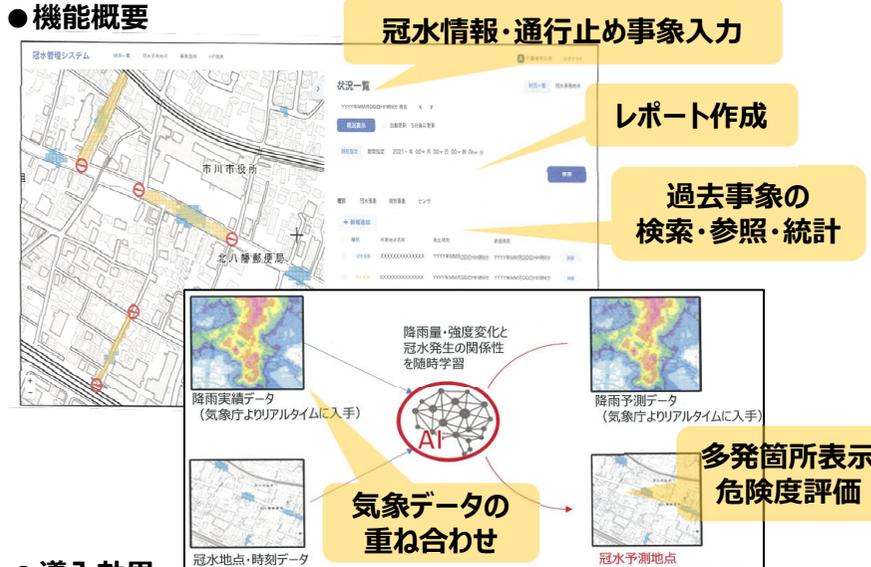
無料（システム構築・システム運用保守・カスタマイズ 等）

●スケジュール

令和3年10月	11月	12月 ~	令和4年4月
★ 覚書締結 システム運用開始 フロー検討	→		実証終了
		フローの再検討	

実証システム像

●機能概要



●導入効果

	現状	システム活用	効果
発災認知	センサー通知 パトロール 通報・SNS	データの可視化 AIによる 危険箇所予測	迅速な体制整備 の支援
情報共有	ホワイトボード 紙の地図 電話 紙の報告書	地図表示 (クラウド上) チャットまたは システム入力	一元的な情報管理 リアルタイムの 情報共有